

2023 年

9 月号

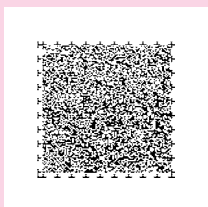
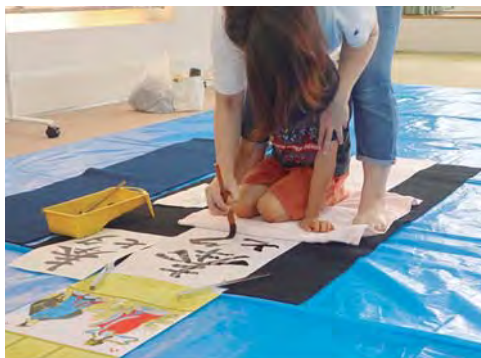


ふれあいネットワーク やめ社協だより

発行●社会福祉法人八女市社会福祉協議会(八女市社会福祉会館内) 〒834-0031 八女市本町599番地



多世代交流事業「七夕まつり」が 開催されました



当日は300名を超える
来場者があり、行事に参加
された民生委員児童委員や
主任児童委員、シニアクラ
ブ八女支部の皆さん等との
交流を楽しまれ、大人から
子どもたちの活気で賑わい
ました。

また、七夕伝承行事であ
る七夕揮毫会では、子ども
たちがそれぞれ選んだ言葉
を大きな紙に一生懸命、毛
筆で書く姿があり、保護者
の皆さんは成長を感じてい
る様子でした。

会場では、竹とんぼや竹
笛等の伝承遊びをはじめ、
プラ板及び風船ロケット、
紙ひこうきや新聞紙を使っ
たエコバック工作等の体験
がありました。

7月30日(日)、八女市多世
代交流館「共生の森」にお
いて、「七夕まつり」が開催
されました。



10月1日より赤い羽根共同 募金運動が始まります

今年も10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が実施されます。

共同募金運動は、社会福祉法に基づいて行われる民間の募金活動で、自分のまちで安心して暮らしていくために、様々な活動を支援する「たすけあい」の運動です。

共同募金会八女市支会では、昨年に引き続き、八女市独自の募金推進の取り組みを行います。今年度も、八女市内の小中高校生及び障がい者支援施設の利用者の皆さんに、標語とイラストを募集しています。

入賞作品は、募金資材（クリアファイルやウェットティッシュ）に活用し募金のお礼として配布する予定です。皆さんのたすけあいの心とあたたかいご支援が、地域福祉を支える大きな助けになります。

今年度も皆さんのご協力をよろしくお願いします。

令和4年度 福岡県共同募金会八女市支会
八女市独自事業 受賞作品

最優秀賞

あたたかい
心をつなぐ

赤い羽根

八女市立立峰小学校 6年 宮園 勇彰 さん



八女市立立峰小学校 6年
江上 愛空 さん

優秀賞

伝えたい 思いをのせて 赤い羽根

八女市立立峰小学校 5年 中島 真帆 さん

広げよう ぽきんにこめる その思い

八女市立立峰小学校 4年 杉崎 朝々香 さん



福岡県立藤崎高等学校 3年
大坪 結 さん



八女市立上野北小学校 4年
林 結奈 さん

(※標語は原文のまま引用)

令和4年度に活用した標語とイラストです

福祉活動報告



ゆめタウン八女様による フードドライブ が始まりました

ゆめタウン八女様が7月6日(木)より、店内の食品売り場一角に特設ブースを設置し、フードドライブに取り組みられています。

開設にあたり、山口次長より「生活に困っている家庭や市内の子ども食堂に少しでも協力していきたい。」と話がありました。今回は、ゆめタウン八女様が独自に実施され、昨年の経験をふまえて、地域に貢献できる活動を行ってきたという考えから、取り組みられています。

また、ゆめタウン八女様は食品ロス削減に向けて、もぐもぐチャレンジにも取り組まれ、子ども食堂へ寄附金を贈呈されています。フードドライブで集まった食品は、社会福祉協議会を通じて、市内の子ども食堂に提供させていただきます。



「ミニバラ八女津姫」を ご覧ください

「ミニバラ八女津媛の会」(代表 牛嶋加代子さん)の皆さんより、八女市社会福祉会館の花壇にミニバラ八女津姫を植栽していただきました。

「ミニバラ八女津媛の会」は令和3年度から活動をスタート。八女市内の公共施設等での花壇づくりを通して「ミニバラ八女津姫」を知ってもらうために会員募集もされています。

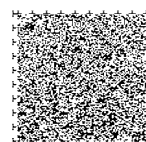
社会福祉会館へお越しの際はぜひ花壇もご観覧ください。



▲8月の開花の様子です



「ミニバラ八女津媛の会」の活動について、詳細は下記QRコードよりご覧ください。





上妻小学校で福祉出前講座を開催

6月14日(水)、6月19日(月)、7月7日(金)、上妻小学校4年生を対象に、「車いす体験学習」「アイマスク体験学習」「手話体験学習」を開催しました。

車いすとアイマスク体験では、車いすの取扱い方や取扱う際に気を付ける事について、講師の話を聞いた後、体育館でマットや跳び箱で使う踏み板等を使用して、足元が緩い路面をはじめ、屋外の段差や狭い道等を走行したり、校内の玄関で実際の段差を乗り越える体験をしました。

手話体験講座では、実際に手話を使って、挨拶や簡単な日常会話を体験しました。

また、今回の福祉出前講座では、5名の講師に協力していただきましたが、児童の皆さんは講師の体験談やこれまでの人生に関する話についてメモを取りながらしっかりと聞いて、多くの質問をされました。

体験を通して、気づきや工夫につなげていくことを大切にしています。障がいがあっても声掛けや思いやり、ちょっとしたお手伝いで、できることがたくさんあります。児童の皆さんにとって、障がい者の理解を深めることができる貴重な時間となりました。



上陽北浜学園4年生と民生委員児童委員との学習会が開催されました

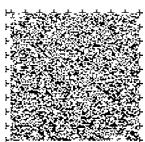
7月12日(水)、上陽北浜学園4年生と上陽校区民生委員児童委員連絡協議会の皆さんとの学習会が行われました。

まず初めに、認知症キャラバンメイトによる講話や寸劇を通して認知症について理解を深めた後、車いすと高齢者疑似体験講座を行いました。

車いす体験では、段差やスロープのコースを車いすに乗ったり、介助する体験を行いました。児童の皆さんは、「車いすに乗る体験や車いすを押す体験の両方ができて良かった。」「車いす生活をされている方の日常生活の様子が分かってよかった。」「等々、様々な気づきや感想を言葉にしてくれました。

高齢者疑似体験では、腰や手を自由に動かせないようにし、視覚や聴覚も鈍い状態で階段やスロープでの上り下りを行い、不自由さを体感しました。民生委員児童委員の皆さんからも、「小学生と一緒に学ぶことができて、いい体験になった。」との声が上がっていました。学習会の最後には、上陽校区民生委員児童委員連絡協議会より、児童の皆さんに修了証が贈られました。

授業を通して、「高齢者を支える地域の取り組みについて、地域にはどのようなことがあるのか、どうすればみんなが安心して暮らせるのか、困っていたら助ける」「思いやりの心」の大切さ等、高齢者への理解を深めることができました。



●福祉団体活動報告

ハ女市身体障害者福祉協会 ポッチャ大会が開催されました

7月14日(金)、ハ女市身体障害者福祉協会ポッチャ大会が、ハ女市総合体育館で開催されました。ポッチャは、パラリンピックの正式種目で、ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青それぞれ、6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。当日は、45名の参加があり、4名のスポーツ推進委員の方の指導のもと、競技を行いました。皆さん、初めは戸惑いながら競技されていましたが、お互いに教え合ってすぐにコツを掴み、絶妙なタイミングで高得点を収めるチームもあり、1回戦から白熱した試合になりました。皆さんポッチャを楽しまれ、笑顔が絶えない大変賑った大会となりました。

詳しくは、ハ女市身体障害者福祉協会事務局
(ハ女市社会福祉協議会)

☎ 23-0294

まで問い合わせてください。



●ボランティア団体活動報告

「ボランティア芸能『夢ゆとり』 が開催されました

7月9日(日)、黒木町ボランティア連絡協議会の主催による「ボランティア芸能『夢ゆとり』」が開催されました。「夢ゆとり」は、日頃のボランティア活動を住民の方々にも知っていただくことや会員同士の交流を目的として開催されています。

今回は三味線、エブロンシアター、日本舞踊を披露していただき、最後はみんなで歌を歌って締めくくりました。当日は、多くの観覧者が来場され、「日々の練習の成果に感動しました。」「観覧することができて良かった。」「元気をもらいました。」「来年も楽しみにしています。」「といった声が聞かれました。



●地域介護予防の取り組み

フレイル予防事業 の取り組み紹介

ハ女市では、市民の皆さんと医療関係と協働で、いつまでも健康で安心してともに暮らせる環境づくりのための取り組みとして、「フレイル予防」を推進しています。

6月には、フレイル予防事業に協力していただく「フレイルサポーター」の養成講座を開催しました。講座には、12名の参加があり、フレイル予防や介護予防に関する座学・実践講習を行い、晴れてフレイルサポーターとなっていました。また、7月中旬にはフレイルサポーター同士で測定練習会を行い、技術向上に努めました。

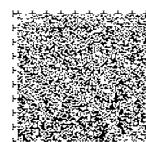
フレイルサポーターは、ハ女市内のふれあいサロンに向いたり、イベントに参加してフレイルチェックを行う等して、フレイル予防啓発に取り組んでいます。



▲練習会の様子



▲養成講座の様子





つどいと交流が生まれる図書館をめざして

八女市社会福祉協議会矢部支所では、つどいと交流の生まれる図書館をめざして、八女市立図書館矢部分館と連携し、ふれあいサロンでの周知活動やイベントの際の送迎に協力しています。

7月14日(金)のふれあいサロンの際に、移動図書館「ゆめみらい号」の派遣を調整し、図書館司書の山田さんより、図書館の利用に向けた説明を行っていただきました。

本は字が小さくて読みにくいと言われる方におすすめてされている「大活字本」(通常より大きな活字で印刷されている本)や生活の楽しみが増えること等、読書を行う事のメリットについて紹介されました。老松会サロンの方も、「図書館には行ったことがなかったが、こんなに大きな文字の本があるなら読んでみ



るごたる。」「家に一人おっても暑かばかり、涼みがてら図書館に行ってみよう。」と、その場で図書館利用の申し込みをされる方もいました。

また、7月27日(木)には、来館機会の増加につなげることができるようにと、子どもたち向けの「夏休み工作教室」が開催され、送迎の協力をさせていただきました。工作教室では、工作キットで飛行機を作りました。工作教室終了後に、子どもたちそれぞれが、5冊程度の本を借りていました。

矢部村の大切な社会資源である図書館を活用いただき、読書だけではなく、子どもたちから高齢の方まで、地域住民のつどいと交流が生まれる図書館をめざして、連携した周知活動を行っていきます。



矢部清流学園との交流とボランティア活動の報告

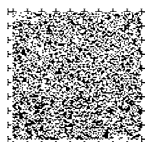
八女市社会福祉協議会矢部支所では、矢部清流学園の生徒とゆいのもり利用者の交流会を実施しています。また、夏休み期間中には、ボランティア活動の受入れを行っています。

今年度は、交流会に向け、清流学園よりご高齢の方への配慮の仕方や認知症の方の対応を学びたいとのことで、6月13日(火)に、認知症サポーターの養成講座を受講されました。

生徒の皆さんからは「認知症や困っている方を見かけたら優しく声をかけて対応していきたい。」との感想があり、この学びをもとに、ゆいのもり利用者との交流会を生徒が主体となって計画し、7月4日(火)に交流会を開催しました。



夏休み期間には、さっそくボランティア活動に参加いただき、施設内の清掃やゆいのもり利用者とコミュニケーションを図っていただくといったボランティア活動に協力いただいています。





ひきこもり家族のつどいに参加しました

7月20日(木)、久留米市総合福祉会館で開催された、『ひきこもり家族のつどい』に笑福クラブ親の会(八女地区不登校・ひきこもり親の会)から3名参加されました。講師は大住信子氏で、自らひきこもりの親として長年ご苦労されており「家族の体験談～家族の気持ちの変化、気づきから見てきたもの～」と題し体験談を話されました。

当日は、春日市の会場から配信され、大住氏のひきこもりの息子に対峙した経験から学ばれたことや親の会発足に携われたこと、また、県にひきこもりの窮状を訴え、社会的ひきこもりの相談窓口を設置されたこと等を話されました。ご自身の長年の体験を基にした講話はとても心に響く内容でした。参加された方からは「とても良いお話でした。もっと多くの方が聴かれたらよかったのに。」との声がありました。最後に参加された団体の紹介があり、ほっと館やめからも笑福クラブ親の会の紹介を行いました。

笑福クラブ親の会では毎月第2土曜日、13時30分から15時30分まで、ほっと館やめにおいて語りの会が開催されています。不登校やひきこもりの子をもつ親(家族)同士だからこそ、分かり合えることがあります。親(家族)が元気になることを目標に活動が行われています。その場で話された内容については、秘密は厳守されますので、お気軽にご参加ください。



9月の行事予定	精神対話士による無料相談会(※毎月第2土曜日・第4木曜日)
●9月 9日(土)13:30～ 笑福クラブ親の会(不登校ひきこもり親の会)定例会 ●9月12日(火)10:30～ お料理教室 ●9月16日(土)14:00～ ひまわりの会定例会	●面談日: 9月9日(土)・28日(木) 13:30～15:30 (事前予約制となっております。事前にお電話ください。)

※「ひまわりの会」は、生きづらさを感じる子の保護者、そしてそんな皆さんをサポートする人の集まりです。



ほっと館やめ(上陽)より 製作体験を行いました

5月からほっと館やめ(上陽)を利用させていただいているAさん。フリースペースに飾っているジェルキャンドルを見て、作ってみたいと希望され、7月6日(木)に製作しました。

青や紫の砂やキラキラしたラメを重ねながら入れ、最後にジェルを流し込みました。真剣に黙々と取り組み、夏らしい涼しげな作品が出来上がりました。

後日お話を伺うと、ほっと館やめ(上陽)で製作された後、ご自分で材料を買いそろえ、自宅でも作品作りに取り組み、遠方に住むご家族にプレゼントとして贈られたそうです。受け取られたご家族からも「きれいによく出来ているね。」と喜んでいただいたそうです。

ほっと館やめ(上陽)では、フリースペースでゆっくり過ごしていただくことはもちろん、様々な取り組みを通して、今後も色々な体験を提供し、本人にとっての自信につながるような支援をめざします。



▲砂を重ねます



▲ジェルを流して固めます

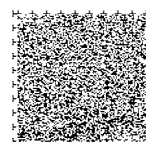


▲出来上がり!

(※右記のQRコードよりほっと館やめホームページをご覧になれます。)



問い合わせ	ほっと館やめ	ほっと館やめ(上陽)
	☎22-8315 携帯090-6893-5701 メールアドレス: hottokan@road.ocn.ne.jp	☎24-9820 携帯090-7457-4053 メールアドレス: hottokanjyoyo@gaea.ocn.ne.jp



※ほっと館やめでは、✉メールでの相談も受付けています。お気軽にご活用ください。



第32回黒木町社会福祉大会 ～手をつなごう福祉フェスティバル～

日時 10月7日(土) 9時30分 開場

場所 ・八女市黒木地域交流センターふじの里
・黒木体育館

講演会 「ひとりの百歩より百人の一步のまちづくり」
～大牟田市 はやめ人情ネットワークの歩み～
講師 はやめ人情ネットワーク顧問 汐待 律子 氏

★ 赤い羽根共同募金運動

★ チャリティー物品バザー

★ 食バザー

★ 入浴施設・トレーニングルーム無料開放 等



※内容は変更になる場合があります。

●問い合わせ：八女市社会福祉協議会黒木支所
☎ 42-2131

地域献血のお知らせ

皆さまのあたたかいご協力をお願いします

〔献血の基準(400ml献血の場合)〕

- **年齢**：男性 17～69歳 女性 18～69歳
※ 65歳以上の献血については、
60～64歳の間に献血経験がある方に限ります。
- **体重**：男女とも 50kg以上
- **新型コロナウイルスのRNAワクチン(ファイザー社・武田/モデルナ社製)を接種した人は、接種後48時間を経過していれば献血にご協力いただけます。**
- **新型コロナウイルス既感染者のうち、症状消失後(無症状の場合は陽性となった検査の検体取日から)4週間が経過し、回復後に治療・通院を要する後遺症が無く、問診などで全身状態が良好と確認できれば、献血にご協力いただけます。**

● **上陽地区**：9月14日(木)

会場：八女市農業活性化センター
10時～12時

● **南中学校区**：9月14日(木)

会場：八女市総合体育館
14時～16時

● **西中学校区**：9月18日(月)

会場：ゆめタウン八女
10時～12時 / 13時～16時

● **問い合わせ**：八女市献血推進協議会(八女市社会福祉協議会内)
☎ 23-0294



第八回八女市金婚式 参加者募集



八女市社会福祉協議会では八女市との共催により、八女市内在住の結婚50周年を迎えられるご夫婦を対象に金婚式を開催します。

● **日時**：11月22日(水)

午前11時開式

● **場所**：ガーデンホール矢部川城

(八女市津江913-1)

● **参加対象**：昭和48年に結婚され、今年50周年を迎えられる八女市在住のご夫婦

● **内容**：金婚式式典の後、祝宴を催します。
アトラクションをお楽しみください。

● **参加費**：ご夫婦で7,000円

● **申込期間**：9月1日(金)～10月27日(金)

● **申込方法**：最寄りの社会福祉協議会本所・各支所
にお申込みください。

※申込者には受付時間等を記載し、改めて案内状をお送りします。

※上陽地区、黒木地区、立花地区、矢部地区、星野地区については、送迎バスを準備いたしますのでご利用ください。

★詳細は9月1日号の広報やめの折込みチラシをご覧ください。



『点字教室』開催のお知らせ

受講料
無料

点訳を習得して視覚に障がいのある方と交流を深めてみませんか？

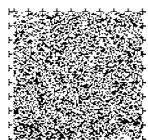
市広報及びやめ社協だより等の身近な生活情報を点訳して、障がいのある方の生活を支援していくボランティア養成講座を下記の通り開催します。

● **期 日**：10月11日～11月8日(毎週水曜日)
5回シリーズ

● **時 間**：19時～21時

● **場 所**：八女市社会福祉会館 2階中会議室

● **申込・問い合わせ**：八女市社会福祉協議会 福祉課
地域福祉係 ☎ 23-0294



八女市社会福祉協議会
公式LINEアカウント

友だち追加用QRコード ➡



リサイクル適性(A)

環境に配慮した植物性大豆インキを使用しています。

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

聞こえる安心、防災ラジオ

八女市の防災等緊急情報はFM八女[80.1MHz]を通じて放送します。



